

令和7年度第1回 日本大学医学部附属板橋病院 医療安全監査委員会要旨

- 1 日 時 令和7年9月4日(木) 午後1時30分～4時30分
- 2 場 所 日本大学医学部附属板橋病院 会議室1
- 3 委 員 寺崎 仁(委員長)
各務 武希, 石原 美和, 佐伯 晴子, 西成田 進(委員)
- 4 病院出席者 吉野 篤緒(病院長)
田村 剛史(事務長)
中村 裕子(看護部長)
鈴木 孝浩(副病院長・医療安全管理委員会委員長)
中山 智祥(病院長補佐・感染防止対策委員会委員長)
福島 栄(薬剤部技術長・医薬品安全管理責任者)
岡本 一彦(臨床工学技士室技術長補佐・医療機器安全管理責任者)
山口 順子(救命救急センター科長)
小澤 亮子(救急部門師長)
菊川 一真(3N病棟師長補佐)
高木 俊一(手術部部長)
堺田 潤(2A病棟師長)
五十嵐 崇浩, 西尾 治美, 早坂 正敏, 栗田 いずみ, 浅海 宏
(いずれも医療安全管理室専従職員)
稲山 隆太郎(庶務課課長補佐)
永田 晶子(庶務課)
安中 太(本部病院経営指導管理オフィス特任次長)

5 委員が確認した内容

- ① 医療安全に関する病院全体の状況
 - (1) 医療安全に関する基本的な方針
 - (2) 医療安全管理に関わる業務への管理者としての取り組み
 - (3) ペイシャントハラスメントへの対応方針
 - (4) ICU(集中治療)部門のその後の取り組み
- ② 部門を超えて活動する各種委員会の活動について
 - (1) 医療安全管理委員会, セーフティマネジャー, 各種WG
 - (2) 感染防止対策委員会とその下部組織
 - (3) 薬剤管理委員会
 - (4) 医療機器・放射線機器管理委員会

③ 救命救急センターについて

- (1) 組織体制と部門の運営状況
- (2) 看護師・薬剤師等とのチーム医療の状況，各診療科との連携
- (3) インシデント報告等の医療安全への取り組み

④ 各部門に関する監査

・医療安全管理部門

- (1) 医療安全に関する主なマニュアルや手順書などの改訂部分について
- (2) 「レベル3 b」以上のインシデント・アクシデントレポートとレベル0の報告推進するための取り組みについて
- (3) 医療事故調査制度の対象となった直近の事例の概要と院内事故調査の進捗状況，医療事故情報収集等事業への報告件数等について
- (4) ハイリスク症例検討会の開催状況と検討した症例の概要について
- (5) R R Sの起動状況について
- (6) 「パニック値」や「スタット画像」に関する取り組みについて
- (7) 臨床倫理への取り組みについて
- (8) インフォームド・コンセントの質向上のための取り組みについて
- (9) チーム医療を阻害する破壊的行動に関する状況について

・感染対策部門

- (1) 感染対策に関連するマニュアルなどの改訂部分について
- (2) アウトブレイクの発生状況について
- (3) S S I（手術部位感染）などの院内サーベイランスの状況について
- (4) 抗菌薬の適正使用に向けた活動について
- (5) 手指衛生の徹底のための具体的な取り組みとその成果について

・薬剤部門

- (1) 新規採用の申請があった薬剤の採用の可否等について
- (2) 院外調剤薬局からの疑義照会の対応手順と対応件数について
- (3) 院外調剤薬局との契約締結によるプロトコール対応可能の影響，照会に基づいて医師が処方変更した場合の変更内容等のカルテ記載の確認について
- (4) トレーシングレポートの収受年間件数や報告内容分類結果，活用状況について
- (5) ポリファーマシー対応の新たな取り組みについて
- (6) 救命救急センターにおける薬剤師の活動状況について

・医療機器管理部門

- (1) 医療機器の操作手順などに関するルール等の改訂部分について
- (2) 医療機器の安全使用研修実施状況等について，特に医療機器の新規導入に際する現場職員への研修内容について
- (3) モニターのアラームが適切に機能するためにM A C Tのような活動が行われていれば，その状況について
- (4) 医師を含めた他の職種に，気づいたことを伝えるための工夫について

(5)救命救急センターにおける臨床工学技士の関与について

6 監査結果・委員からの講評

- ① インシデント・アクシデントレポートのレベル0の報告件数が低迷している
ので、報告件数を増やし安全文化の定着をお願いしたい。
- ② ハイリスク症例検討会について、院内の他の部門を交えて多職種で検討や対
応をしているのであれば、それが分かるように記録を残していただきたい。
また、社会的リスクに対しても院内として検討する場になることが望ましい。
- ③ ハラスメントについては、医療安全の面からも重要ではあるが、労働安全衛生
委員会等で取り上げていただき、労働環境の改善に努めていただきたい。
- ④ 手術にかかるSSIについては、低減に向けて引き続き努力いただきたい。
- ⑤ 薬剤管理委員会は、薬剤に係る全ての事項に対して検討や活動ができる組織
体制に整備していただきたい。
- ⑥ チーム医療を行う中で、多職種との関係構築のため、コミュニケーションを磨
くことが重要である。

以 上